

議会だより

しらたか

2017年4月24日発行
(平成29年)

Vol.134

山形県白鷹町議会
3月定例会

「感謝の気持ちを形に」

蚕桑小学校 まゆ花のコサージュづくり 17頁に関連記事

- ・ **新規注目事業** 2p
- ・ **新年度予算に活発な質疑** 4p
- ・ **ここが聞きたい（議員が熱弁）** 13p
- ・ **シリーズ企画 議会の疑問に答える
「議会になになぜ？」** 18p

まちづくりへ と注目ポイント

3月定例会

定例会は3月7日から17日までの11日間で開催され、平成29年度当初予算、28年度補正予算、条例改正などについて審議し、すべて原案のとおり可決しました。

雇用・産業

- 注目!** 農業再生協議会事業・・・377万円
(農業支援専門員配置等)
◇再造林支援事業・・・・・・・・145万円
◇地場産業元気支援事業・・・・・・・・100万円



農業再生協議会に新たに専門員を配置し、担い手への農地の集積等を推進しながら農業の振興をはかる。

防 災

- 注目!** 地域防災推進事業・・・・・・・・120万円
(ハザードマップ作成)
◇小型ポンプ積載軽自動車購入事業1504万円
◇住宅耐震化促進事業・・・・・・・・1645万円



最上川の洪水浸水想定区域が見直されたことにともない、ハザードマップの更新を行う。

地 域

- 注目!** 買い物環境充実支援実証実験事業・242万円
◇若者定着奨学金返還支援事業・・・・・・・・250万円
◇パークゴルフ場東屋整備事業・・・・・・・・135万円



人口減少や少子高齢化、商店数の減少にともない、日常の買い物が困難な状況にあることから、買い物環境の充実と見守りを兼ねた支援の実証実験を行う。



平成29年度
予算可決

次代につなぐ

新規重点事業

注目!

まちづくり複合施設整備事業
16億7709万円



施設の整備工事に着手するもの。建設工事は2カ年を予定しており、平成29年度は中央公民館・図書館・防災センター部分と、役場機能の一部、バイオマスボイラー、防災倉庫の整備を行う。



17頁に関連記事

子育て・教育

注目!

- 白鷹っ子養育事業・・・・・・・・ 477万円
- ◇学校給食費支援事業・・・・・・・・ 300万円
- ◇こども園支援事業・・・・・・・・ 2億1215万円
- ◇鮎貝小学校駐車場整備事業・・・・ 6131万円



出産のお祝いと健やかな成長を願い、出生祝い金として1人5万円を贈呈。
新生児訪問時と1歳6カ月児健診時に絵本を贈呈。



子育て環境の充実・支援に

平成29年度一般会計予算89億8900万円を可決

すべての町民の安心・安全のために
予算の着実な執行を強く要望



笑顔かがやくまちを目指して（よつば保育園）

反対討論

石川 重二議員

今回の予算では、子育て支援、介護福祉関係など多数評価すべき点はある。

しかし、今の状態では、農家・農村地域が疲弊し、山間地の基盤が崩れることになりかねない。今回の請願のように、地域を守る取り組みを国に働きかけていただきたい。

また、中丸池の満砂になっっている土砂を、災害が起きないように取り除いていただきたい。そのような予算がないので反対である。

反対議員：石川議員

賛成討論

田中 孝議員

まちづくり複合施設については、町民の集まりやすい、高齢者にやさしく、利用しやすい施設にすべきである。

そして、子育て支援、荒砥高校応援、農業支援専門員配置、日本の紅をつくる町の推進、買い物実証実験、病院支援などに予算計上された内容となっている。

少子高齢化に対応した内容でもあり、全体では、幅広く配分されていることを高く評価し、賛成討論とする。

賛成議員：渡部、笹原、佐々木、小口、小形、田中、山田、奥山、佐藤、菅原、関、今野 各議員



佐藤 誠七 町長

平成29年度 施政方針 (要旨抜粋)

計画的な財政運営を行っていく

本町の財政状況については、社会保障関係経費や繰出金等の増加が見込まれ、加えて、少子化対策や森林・林業再生、まちづくり複合施設整備等の主要施策による歳出も見込まれており、より一層、計画的な財政運営を行っていく必要があります。

また、平成29年度は、第5次白鷹町総合計画の後期基本計画が3年目を迎え、折り返しの時期でもあります。

引き続き、「子育て・教育」「雇用・産業」「地域」「防災」の4つの柱を重点に、各種計画等と連動し、取り組んでいきます。

「まちづくり複合施設」は、平成29年度から工事に着手します。

平成29年度当初予算額		
会 計 項 目		予 算 額
特 別 会 計	一 般 会 計	
	89億8900万円	
	十 王 財 産 区	
	41万円	
	下 水 道	
	5億3511万円	
	国 民 健 康 保 険	
19億5303万円		
農 業 集 落 排 水	1億6873万円	
	介 護 保 険	
17億115万円		
後 期 高 齢 者 医 療		
1億3347万円		
事 業 会 計	水 道	収益的支出
		3億323万円
	病 院	資本的支出
		1億4174万円
	訪問看護 ステーション	収益的支出
		11億5859万円
	資本的支出	
1億5215万円		
合 計		
152億7267万円		

※万円未満は端数を調整しています。

総括質疑



今野 正明 議員
施策執行後の町の将来像は

問 「子育て・教育」「雇用・産業」「地域」「防災」と全体に配慮した予算編成となっていくのか。

これら施策の執行の後には、どのような町の将来像を描いているのか。

町長 それぞれの施策を住民の皆さんとともに着実に取り組んでいく。

第5次総合計画に掲げている「住んでいる人が愛せるまちづくり」「安心で安全なまちづくり」「改革と自立のまちづくり」の展開がはかられ、将来像としている「笑顔かがやき心かよう 美しいまち」がつくられていくものと考えている。

関 千鶴子 議員
公共施設等の計画的な維持管理は

問 白鷹町公共施設等総合管理計画はこれからの行財政運営において必要な計画と認識しているが、より実効性のある計画にするためにどのようなことを考えているのか。

町長 公共施設等の情報を全庁的に共有し、総合的かつ計画的に管理するため、現在整備を進めている固定資産台帳を活用し、これらの施設情報等の可視化に取り組む。

また、長期的な視点に立った維持管理の推進により、財政負担の軽減と平準化を目指していきたいと考えている。

石川 重二 議員
林業家の経営は

問 森林の境界が明確化された地域から森林の整備を進めるとともに、町独自に伐採後の再造林への支援を行っていくとのことだが、木材価格が低迷している中で林業家の経営は成り立つのか。

町長 森林組合などを中心に、小さな面積の森林所有者を一体にまとめた「森林経営計画」を作成することにより、森林所有者に少しでも利益を還元できる仕組みづくりの手伝いをしていく。



予算特別委員会

町民のしあわせのために

委員長 菅原 隆男
副委員長 奥山 勝吉

予算特別委員会とは

当局から提案された予算が、町民の福祉向上のために有効に使われようとしているか、審査をおこなうところです。

一般会計のほか、6つの特別会計と3つの事業会計があります。

構成委員は、遠藤議長を除く全議員です。

この度は、3月14日と15日の2日間にわたり、新年度予算について審査しました。

小形委員
役場庁舎の整備に対する起債制度が創設されたが、将来負担に対して今後の財政の見通しはどうか。

町債増による今後の財政見通しは

一般会計

質疑

歳入
(町の収入)

当局

人口減少により、税収等の自主財源の伸びを見込めない中、地方交付税等への影響や、まちづくり複合施設整備の財政需要を見込んだ収支の見通しを立てている。

複合施設整備に対する起債は、充当率75%のうち30%が交付税で措置されるものであり、こうした制度を活用し、財政の収支を見ながら計画を立てていく。

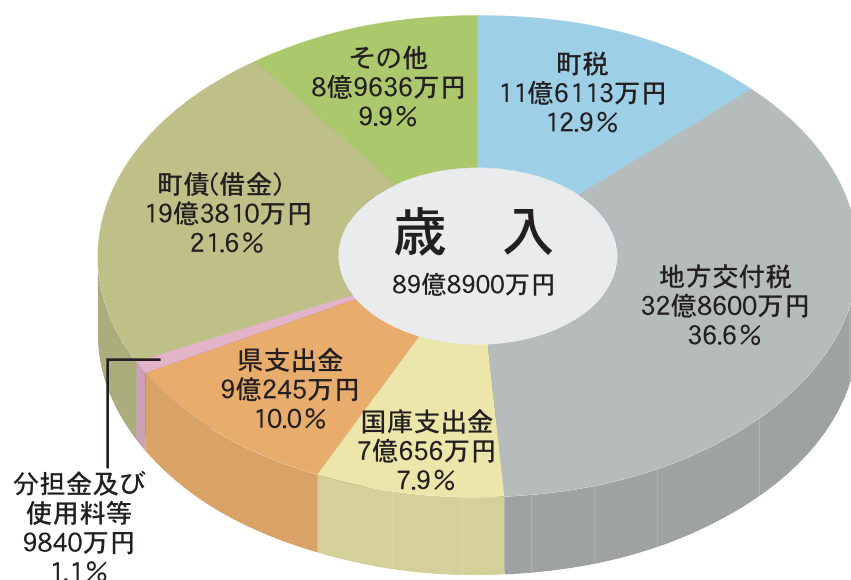
へき地児童生徒援助費等補助金の内容は

関委員

教育費国庫補助金にある「へき地児童生徒援助費等補助金」の内容は。

当局

を予定。補助金として2分1の歳入を見込んだもの。スクールバス1台の購入



総務費

第6次総合計画策定は町民とともに

今野委員 今年度から次期計画の調査に入るが、ぜひ、町民と行政一体となつて進めるべき。

当局 現在の総合計画は毎年実施計画をつくりなが

ら、振興審議会等にはかり進めている。

今後、アンケート調査や座談会、ワークショップの開催などにより、町民の皆さんの声を反映していく。

地域おこし協力隊への定住支援は

佐藤委員 5人増と、定住に向けた町の取り組み体制を強化すべき。

当局 新たな受け入れについては各コミセンで検討いただきたい。

定住に向けた取り組みはしているが、本人の意思が一番。それぞれの地域で活動した結果として、白鷹に住んでみたいという選択をしてもらえるようにがんばっていききたい。

公平なコミセン分館運営を

今野委員 分館の維持・管理等への支援には、一定の基準が必要と思うが。

当局 昨年10月、各分館に来年度の予定について希望を聞いた。制度の周知をはかったうえで、早い者勝ちということのないように、できるだけ意向に沿った形での対応ができるように配慮していく。



活躍中の地域おこし協力隊

女性が輝く社会の実現への取り組みは

関委員

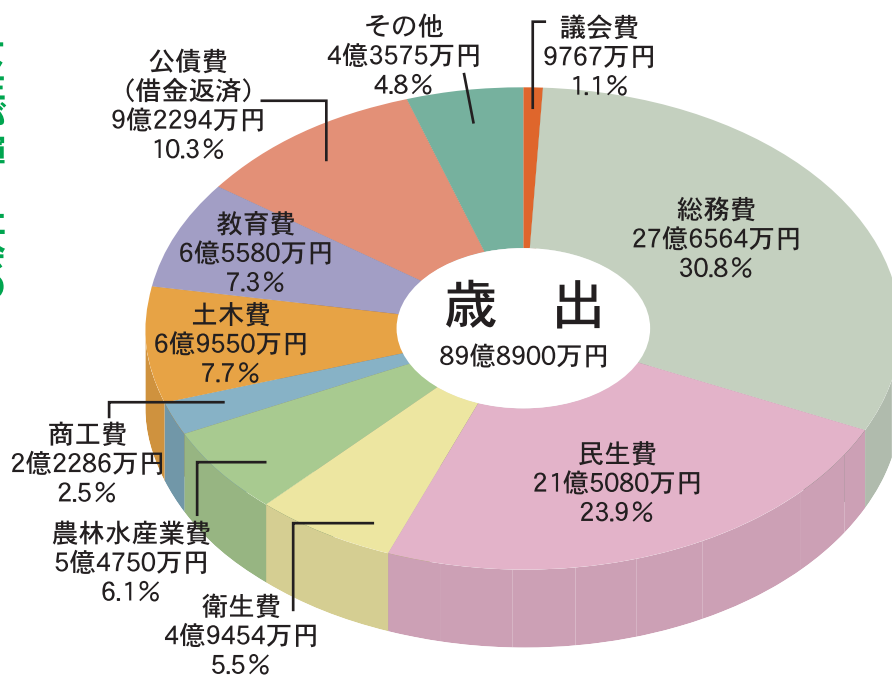
男女共同参画推進

進計画に基づく女性が輝く社会の実現とあるが、具体的な内容は、

当局

男女共同参画による意識

の向上、就労環境改善対策事業、働きやすい環境づくりの研修会を予定している。各種審議会委員など女性の割合を40%以上の目標としている。





みんなで花いっぱい

**花いっぱい運動と
ゴミ減量運動の状
況は**

石川委員 道路沿い
や学校花壇

等への花いっぱい運動
をすすめているが、進
捗状況は。また、ゴミ
減量への取り組みは。

当局 花いっぱい
運動は、27年

度は48団体、28年度は
49団体で、およそ1万
6700本を植栽して
いただいた。

ゴミ減量を進めるた
め、39団体から回収に
協力していただいた。

**危険交差点の安全
対策は**

小口委員 今年はい
ンターハイ

が開催され、2万人か
ら3万人の来町が予想
される。危険交差点の
安全対策は。

当局 鮎貝地区内
の交差点も現

場確認している。白線
等の道路標示が見えに



塩分ひかえめ、手づくりおにぎり

親への健康指導は

笹原委員 子どもの
健康づくり

健診の結果を受けて、
親の世代にも指導は行
うのか。

民生費

くくなっているスポー
ツ公園周辺の十字路を
中心に、再度整備をし
ていく。また、各小学
校、中学校の通学路も
早急に対応していく。

当局 保護者への
周知は、PT

A総会や保護者会の時
に行う。

さらに保育園の保護
者にも周知していく。

**福祉型小さな拠点
づくり事業の目指
すものは**

佐々木委員 元気な
高齢者の

集いとあるが、どこを
拠点と想定しているか。
また事業の狙いは。

当局 趣味の活動
などを通じ、

高齢者の閉じこもり予
防や、障がいのある方

農林水産業費

引きこもりの方や子ど
もなど、誰もが交流で
きる居場所を作りたい。
鮎貝地内の一軒家を借
りることを想定してい
る。

**農業振興地域整備
計画策定事業とは**

田中委員 28年度の
基礎調査と

計画の見直しとは何か。
農用地の管理とシステ
ムをどのように活用す
るのか。

当局 おおむね5
年ごとに基礎

調査を実施する。29年
度は、その結果に基づ
き、どのように農業振
興をはかっていくか計
画をまとめる。

また、図面データ等
と連動させた農業振興
地域の管理システムを
構築し、町民からの相
談に活用するなど、利
便性をはかる。

**新たな支援制度に
よる町民負担は**

小口委員 庁舎建設
に対し国の

支援制度を活用した場
合、どれくらい町民負
担が少なくなるのか。

当局 実質的な負
担額は約1億

8千万円の圧縮がはか
られる。

また、基金繰り入れ
も当初8億円から4億
2千万円と、約3億8
千万円の基金留保が可
能であり、この分、町
民負担が少なくなると
考えている。

**複合施設整備の事
業費の増額は**

佐々木委員 計画の
甘さや物

価の高騰などによる、
事業費の大幅な増額は
本当にならないのか。

当局 これまで、

に絡む物価の高騰など
も加味しながら相当詳
しく調査してきた。常
に現在予定の事業費を
上限と考え取り組んで
いきたい。



森の健康診断

松くい虫被害の現状は

渡部委員 町内の松
くい虫被害
は増えているのか。

当局 被害量は、
28年度の速報
値ではあるが365㎡
で、過去5年間をみる
と、おおむね横ばいで
推移している。

森林再生の対策は

渡部委員 今後どの
ように再生
していくのか。

当局 境界明確化
が終わったと
ころから「森林経営計
画」を作り、それに基
づいて整備し、森林を
元気にしていく。

**畜産生産拡大支援
機械導入支援とは**

田中委員 飼料用稲
の刈り取り
機械設備とあるが、機
械を増やすのか、ある
いは更新か。

当局 現在、町内
では約30haの
作付をしており、その
うち約26haを作業受託
組合で作業している。

新たな組織の立ち上
げ、体制整備を行い生
産に努めていく。機械
は、新たな組織で新規
に購入するものである。

商工費

**買い物環境充実支
援実証実験の成否
の判断は**

佐藤委員 地区に限
定した実証
実験だが、成否の判断
として何を想定してい
るのか。

当局 あくまでも
実証実験で、
成否の判断は想定して
いない。支援対象の事
業者が事業として成り
立つのか、どのような
支援が必要なのかを検
証したい。

土木費

**西廻り幹線道路建
設に関わる取り組
みは**

小形委員 現在の取
り組み状況
と、29年度の建設に向
けた運動の考え方は。

当局 現在、蚕桑
・鮎貝地区で
促進協議会を結成し取
り組んでいる。長井地
区にも協議会があり、
今後は長井地区の協議
会と話を進め、一本化
の取り組みをはかって
いきたい。

中丸池の対策は

石川委員 中丸池は
満砂状態で
あり、豪雨により土砂
が越流したら、下流に
大きな災害を及ぼすが、
対策は。

当局 25年・26年
の豪雨により、
満砂となったことは承
知しているが、土砂を
取り除くには数億円か
かると見積もっている。
万が一を考え、大型土
のうを準備している。

教育費

**教員の勤務時間の
軽減は**

笹原委員 校務支援
システムの
導入で労働時間の軽減
はなるのか。

当局 情報の共有
と再活用によ
って効率化がはかられ、
教職員の負担を減らし
子どもと向き合う時間
を確保し、教育の質の
向上に努めたい。



熱心に指導（白鷹中）

スクールバス運行 での問題点は

渡部委員 スクール
バスのルー
ト設定は。その中での
問題点は。

当局 スクールバ
スルートと時
刻の設定は、教育委員
会と学校が連携して行
った。

2年間の運行での課
題をもとに、児童生徒
の安全確保を検討した
うえで、ルートやバス
停の変更を行った。

教育相談事業の不登 校への対応は

奥山委員 不登校児
童生徒の社
会進出に向け、相談員
による問題解決への考
え方と対応策は。

当局 まずは学力
の向上が重要。
同時に強い精神力の育
成が必要。適応指導教
室で少しでも引きこも
りをなくし、保護者向
けの指導も行っている。

どうする中学校 校庭整備

山田委員 水はけの
悪い中学校
校庭整備の今後の対応
は。

当局 2億円近く
の概算費用を
どうするのか、補助事
業等の財源を現在、研
究している。緊急性の
高い法面崩壊対策等も
含め、財源確保が一番
の課題である。

消防費

防災マップの更新 に関して、危険想 定区域は

佐々木委員 最上川
の浸水区
域見直しに加え、県の
河川や町想定危険区
域は掲載されるのか。

当局 最上川の浸
水区域と、土
砂災害の危険箇所も掲
載するが、県河川の浸
水想定区域はまだ出て

いないため掲載できな
い。各自主防災組織の
マップも活用しながら
防災活動を支援してい
きたい。

防火水槽の新設策 は

山田委員 防火水槽
の新設は各
地区の要望が多いよう
だが、どのように進め
るのか。

当局 要望件数は
20件を超えて
いる。周辺の水利の状
況、消火栓との兼ね合
いも勘案しながら整備
を進める。

特別会計

介護保険特別会計

ふれあいいいき サロンの今後の事 業内容は

奥山委員 パレス松
風が主催す
る健康づくりサロンの
内容と料金は。

当局 送迎付きで
月2回実施す
る。健康を目的とした
内容で、パークゴルフ
や遊歩道散策、輪投げ
やカラオケ、健康講座
など。バランスのとれ
た食事を提供し、料金
は1回1300円とな
る。



今日も安全運転



パークゴルフで健康づくり

正
算
補
予

このように決めました

全会一致で可決

質 疑

公共施設整備基金の今後は
委員 公共施設整備基金はいくらまで積み増しするのか。公共事業のあり方は。
当局 まちづくり複合施設の財源としては、おおむね一定のめどが立ったものと思う。今後の公共施設の維持、管理、修繕などにも弾力的に対応したい。

減額の内容は
委員 森林・林業再生基盤づくり交付金の減額の内容は。
当局 国の27年度のTPP関連補正予算の中で、事業主体に対して直接交付される予算に乗り換えたための減額である。



明るく生まれかわる荒砥小学校

一般会計補正の主なもの

公共施設整備基金積立（元金） 1億円

補正後残高見込額 11億5146万円

病院費（経営基盤強化費） 7000万円

病院事業会計の経営状況等を勘案した対応

経営体育成支援事業（農業） △1895万円

事業費の確定に基づく調整

森林・林業再生基盤づくり交付金事業

△8030万円

事業の実績に基づく調整

谷町八ヶ森線道路改良事業 △4536万円

事業費の確定に基づく調整

荒砥小学校大規模改修事業 1億8691万円

国の補正予算の採択により29年度予定事業を前倒して実施するため

など

◎ 財源は国、県支出金、繰越金などで対応します。

平成28年度補正予算総括表		
会 計 名		補正額
一 般 会 計		補正後の額
特別会計	下 水 道	7130万円
	国民健康保険	86億 921万円
	農業集落排水	△1億7221万円
	介 護 保 険	5億8175万円
	後期高齢者医療	1882万円
		19億1681万円
事業会計	収益的支出	△1645万円
	資本的支出	1億4945万円
		△3853万円
病院		16億3240万円
		294万円
		1億3932万円
		△106万円
		11億7419万円
		△3072万円
		9550万円

※万円未満は端数を調整しています。

請 願

不採択

●「農業者戸別所得補償制度」の復活を求める請願

請願者 置賜農民連 会長 小林 茂樹
白鷹町農民連 会長 川部 忠弥

賛成少数のため **不採択**

賛成討論

景況感調査によると59%が必要な施策と回答し最も多く、趣旨に連動する。小規模農業の意思を反映させるとともに、多くの農家の願いととらえ請願趣旨に賛同する。

反対討論

これからの農業・農村を考えた場合は、中長期的に継続した政策が必要。今の政策を維持、発展させる意味で反対とする。

人 事

●人権擁護委員候補者

任期満了により、新たに向田美和子氏（広野）と、引き続き鈴木和夫氏（十王）の2人を人権擁護委員の候補者に推薦することに全会一致で同意しました。

条 例

●白鷹町いじめ防止対策の推進に関する条例の設定

白鷹町いじめ防止基本方針の策定等について必要な事項を定めるもの。

●白鷹町課設置条例の一部改正

農業制度改正への迅速な対応と、観光交流施策の推進のため、産業振興課を農林課と商工観光課に分けるもの。

●白鷹町都市公園条例の一部改正

「白鷹町就業構造改善センター」を合宿や軽スポーツを通じた交流等ができる施設「白鷹町スポーツ交流館」として設置するもの。

●白鷹町個人情報保護条例等の一部改正

●白鷹町職員の育児休業等に関する条例等の一部改正

●白鷹町町税条例等の一部改正

●荒砥駅前交流施設の設置及び管理に関する条例の一部改正

●山形県市町村職員退職手当組合理約の変更

他、条例の一部改正 3 件

すべて全会一致で可決されました。

表 彰

置賜地方町村議会議長会
自治功労者表彰
議員在職17年以上



遠藤幸一 議長



今野正明 議員

山形県町村議会議長会
自治功労者表彰
議員在職11年以上
関 千鶴子 議員



山形県町村議会広報
コンクール表彰
入 選

「議会だより
しらたか 131号」



人口減少社会における町民所得の底上げは

町長 定年退職者や高齢者の雇用が必要

年間死亡数は

問 過去10年の年間死亡数と過去4年間の平均死亡年齢は。

町民課長

平成17年度からの統計では、年間約200人から240人ほどが亡くなっている。平均死亡年齢は、平成25年度以降の集計であるが、約83歳である。

本町の町税の課題は

問 人口減少と税収について、どのように分析しているか。

税務出納課長

町税収入は、10年前と比較すると2900万円減になっている。特に生産年齢人口の確保が大事だと考えている。

これからの町税収入確保は

問 人口減少の中、町税収入をどのように確保していくのか。

税務出納課長

企業収益の向上により、法人・個人の税収を上げていくこと、町民の所得を向上させる。

ることが第一と考える。

人口減少における交付税への影響は

問 人口減少による地方交付税への影響について、長期的にどのように見ているのか。

総務課長

平成22年から27年で約1100人が減少している中、交付税全体で、約1億円の減少を見込んでいます。交付税減少という実態をふまえ、財政運営にあたっていく必要がある。

将来の財政計画の考えは

問 長期の予算シミュレーションをすることで、見えてくる問題があるのでは。

副町長

財政分析における企業会計の導入等において、本町の資産と負債



白鷹産野菜で地域活性化

高齢者の生産意欲をどのようにしていくか

町長

高齢者の方々に山菜の生産をしてもらい、わらび園やまつたけの森などにオーナー制を取り入れ、共に整備してはどうか。

農林主幹

山菜地を整備し、生産販売により所得を上げることが理解できるが、労務的にうまくできるか。意見として伺う。

問 目標に、日本一の山菜・きのこの生産体制の構築とあるが、町の山菜の生産量は。 山菜の生産額は、約1420万円と聞いている。

総務厚生常任委員会

地域生活環境の安全性を確保

3月9日に委員会が開催され「白鷹町空家等対策計画の策定」について説明を受けた。

年々増え続ける空き家の対策は差し迫る課題

【計画の趣旨】

町民の安全を守り、安心した生活環境を確保するため「計画」を作り、対策の実施方針を示すもの。

質疑

解体補助の周知は

【委員】解体補助について所有者への周知は。

【当局】所有者や相続人の納税通知書にチラシを同封している。

また、町報やホームページに情報を掲載していく。



空き家管理サービスの内容は

【委員】サービスの内容と料金は。

【当局】建物内外の点検と確認や、通気換気・郵便等の転送などで、月額5千円と1万円コースを設定し、除雪やシロアリ対策などはオプションで提供する。

危険空き家に対し当局の指導を

【委員】今後、さらに危険空き家が増える可能性もあり、当局での指導を望む。

【当局】所有者・管理者等により適切な管理と除去等を行うのが原則。行政としては、危険空き家が発生しないように周知をはかっていく。

「なくてはならない病院」として

持続可能な病院経営を目指すための「新白鷹町立病院改革プラン」について説明を受けた。

現体制を維持しながら収益確保はなるのか

【新たな取り組み】

継続した医療を提供するため、29年度から町立病院と町内開業医で「白鷹町立病院への診療応援に関する協定書」を結ぶ。これにより町内の医療連携がはかられ、地域包括ケアシステムの維持強化につなげていく。

質疑

開業医との連携は

【委員】開業医とはどのような連携になるのか。

【当局】毎年、懇談会を開催。病院の不測の事態に備え、できる範囲で応援していただく了承を得た。



頼りになるスタッフ

ベッド数削減による影響は

【委員】ベッド数が減った場合の影響は。また、医師や看護師の人員配置に問題はないか。

【当局】現在70床あるが、実際の稼働は60床。10床減らしても問題ない。医師や看護師の配置も患者数から換算して問題ない。

診療費の未収金は

【委員】未収金回収に積極的に取り組んで黒字にした他町の病院もある。状況は。

【当局】未収金は600〜700万円。回収を先送りせず、29年度はしっかりと対策をとっていく。

その他
○最上川の浸水想定区域見直し

○十王地区コミュニティセンター整備基本構想などについて説明があった。

産建文教常任委員会

おきたま木材乾燥センターを視察

3月10日に委員会が開催され、鮎貝地内に昨年完成したばかりの「おきたま木材乾燥センター」を視察した。

町産木材の利活用促進に期待する

【設立日】

平成28年6月1日

【会社名】

おきたま木材乾燥センター株式会社

【事業目的】

置賜地域産材の利用を促進するため、市場ニーズに対応した高品質な製品を安定的に提供していく。

【施設内容】

- ◇木材乾燥機 2基
- ◇自動4面かん盤
- ◇木材品質測定器
- ◇マーキング装置
- ◇作業用建物 1棟

【建設費】

- 1億7345万円
- ・国補助8030万円
- ・町補助2000万円

【年間出荷量】

3600m

【雇用】

新規雇用4人（うち白鷹出身2人）



最新の製材ライン



稼働中の木材乾燥機

質疑

木材乾燥機の性能は

【委員】1回の乾燥にかかる日数は。

【事業者】含水率20%以下が目標で、1週間から10日。木の質によるので熟練の管理を要する。

地域の未来を拓く実践力

「白鷹町生涯学習振興計画」の策定について説明を受けた。

みんなが地域で活躍できる仕組みづくりが必要

【施策の3本柱】

- ①生涯にわたる学びの推進
- ②生涯スポーツの振興
- ③芸術文化の振興

【推進体制の整備】

- ◇指導者の育成
- ◇地域人材を活用した学習活動の推進
- ◇地区コミセンとの連携・協働 など

質疑

コミセンの負担は

【委員】地区コミセンに対し、事業の増加による過剰な負担にならないよう願うが。

【当局】地域の中で議論し、独自の活動をしていただければ良いと考えている。今後は集落



さすが先輩、手つきがいい！
（西高玉地区わらじ作り講習会）

支援員や、地域で自由に活用できる財源となる交付金事業を準備したいと考えている。

その他

- 日本の紅（あか）をつくる町連携推進事業
- 白鷹町下水道事業の経営戦略の策定
- 観音寺観音堂保存修理事業の状況
- 全国高校総体女子ソフトボール競技開催準備状況などについて説明があった。

議員定数を12名に

報酬、議会基本条例は継続して調査検討

中間報告まとまる

◆経過◆

平成27年第3回白鷹町議会臨時会において議会活性化特別委員会が設置され、議会活性化のための調査研究を行ってきた。

検討項目として『議員定数・議員報酬』、『議会基本条例』とし、それぞれ分科会を設置して検討してきた。

この度、一定の方向性が決定され、3月17日、中間報告された。

「議員定数・議員報酬」

◇定数を2減の12名に

人口減少などの社会情勢や立候補者が少ないこと、他議会定数の状況も踏まえ、現行定数14名を2削減の12名とする。

【主な意見】

- ・人口減少が続いている。
- ・平成19年から14名のままである。
- ・類似規模の議会と比べても12名は妥当。

定数10名の議会では常任委員会の構成や活動など、議会の機能として大変厳しいとの声がある。

◇議員報酬は継続検討

報酬は、平成8年から現在のままである。各年代層、各職業の方に立候補してもらうため、処遇改善などについて引き続き検討する。

【主な意見】

- ・報酬が上がれば、子育て世代や若い方などいろいろな職業の方も議員に出やすくなる。
- ・報酬に見合う議員活動が必要。
- ・政務活動費を含めて検討すべき。



※18頁に関連記事

置賜各市町の議員定数

市町	人口	議員定数
米沢市	82,164	24
長井市	27,407	16
南陽市	32,009	17
高畠町	23,916	15
川西町	15,727	15
小国町	7,887	10
白鷹町	14,226	14
飯豊町	7,380	10

※平成29年4月1日現在

「議会基本条例」

◇継続して調査検討

条例は他議会の内容を参考にしても、本町議会では実施している項目が多い。議会報告会なども基本条例制定にこだわらず実施できるものであり、継続して調査検討を行う。

【主な意見】

- ・他議会の基本条例を見ても、本町議会ではすでに取り組んでいる事項が多い。
- ・明文化することにより、活動が明確になる。

「政務活動費」

◇ホームページで公開

政務活動費は全国的に不正受給などの問題で不信感を抱かれている。本町では以前より領収書の添付を義務付け、使いみちも議会だよりで公開している。

更なる透明性をはかるため、平成28年度分から、領収書などを町のホームページで公開する。

7月から工事開始予定

平成29年度工事分を予算計上

事業スケジュール(案)

年 月	内 容
7月上旬	工事をする業者を決定
7月上・中旬	分庁舎の解体と整地を開始
9月	複合施設の建築を開始

3月13日、まちづくり複合施設等整備特別委員会が開催され、外構図や平面図、立面図の案が示され、事業のスケジュールなどの説明を受けた。

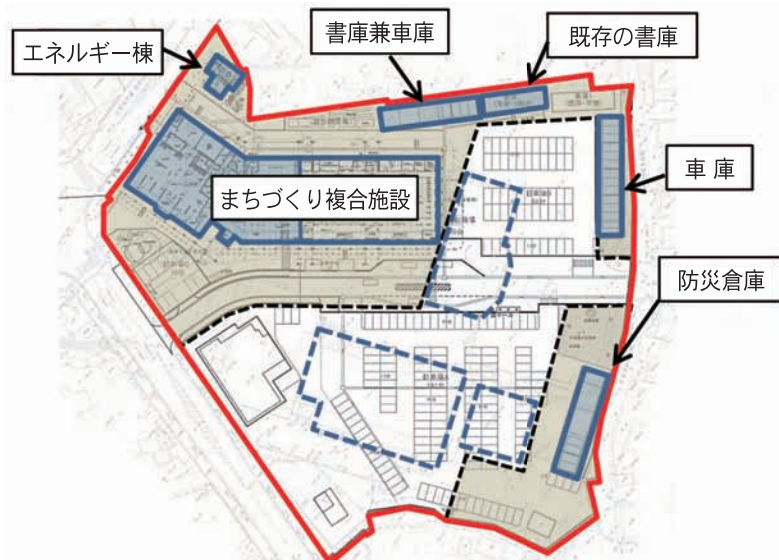
実施設計(案)が示される

質疑

工事費の増加は

〔委員〕基本設計の段階で32億2千万円の概算総工費を提示しているが、工事費の増加はないのか。現在の状況は

〔当局〕設計士には基本設計の32億2千万円は超えないよう伝えている。人件費の高騰も含んで設計するよう話をしている。予算が増えることは考えていない。



- ・・・平成29年度整備予定施設
- ・・・平成29年度外構工事等予定範囲
- ・・・開発行為予定範囲
- ・・・既存建物 (H31解体予定)



表紙
今まで育ててくれてありがとう
蚕桑小学校・まゆ花工芸
卒業式を控え、6年生は、式の際に胸に飾る蚕のまゆでできた花飾りの制作を10年ほど前から行っています。
3年生が大切に育てたまゆを使い、地域の方から作り方を教えていただきながら、ハサミなどを使って桜の花びらを形取り、食紅で美しく色を付けます。
自分用のほかに、感謝の気持ちを込めて、今まで育ててくれたお家の方のご指導いただいた先生方の分も作りました。

議会になになぜ？



議会に対する素朴な疑問をQ & A方式で
分かりやすく解説します。

議員報酬は高い？低い？

Q 白鷹町の議員報酬はいくらなの。

A 月額、議長が31万円、副議長が25万円、議員が23万5千円です。

Q ほかの市や町はどうなの。

A 置賜の議員と比較すると、米沢市44万5千円、長井市36万円、高畠町29万円、川西町25万5千円、小国町が同じ23万5千円、飯豊町が23万円となっています。

Q 市と町で差があるけどなにが違うの。

A 議員がしている活動はほとんど同じですが、業務量の差や専門性・常勤性などから差があるようです。人口や財政規模によっても差があります。

Q 年功は関係ないの。

A 関係ありません。1期目の議員も複数期目の議員も同じです。

Q そもそも議員報酬ってどういうもの。給料と違うの。

A 「地方自治法に基づき、議会や委員会への出席など公務あるいは公務性の高い議員活動への対価として支払われるもの」となっています。

給料と違うところは生活給の意味合いがなことです。

※生活給とは
労働者の生活費を基準に算定される賃金。年齢給・勤続給・家族給などによって構成されるもの。

Q 公務としての議員活動とは。

A 主に議会の開会中を指します。一方、日常の議員活動は公務として認知をされていないのが現状です。

参考：次のような報告があります。

「現在、議員の行う調査・研究活動は、単なる議員の活動であり公務ではないと解されている。また、町や公的機関が主催する式典、その他のイベントに議員として出席することについては、首長の出席は公務として認知されているが、議員についてはそれを公務と解することに意見の一致を見てはいない」
(都道府県議会制度研究会中間報告) と言うのが実状です。

Q 結局、報酬の高い低いはどうやって判断したらいいの。

A 町議会議員の理想は、国会議員や県議会議員のように専業であるべきです。でも現実には今の報酬額では他に収入源がなければ生活がままならないので兼業で活動するしかありません。

志がある若い世代がまちを良くするために議会で活動できる環境ではありません。このようなことから報酬は決して高いとは言えないと思います。





— あの質問のゆくえ —

森林境界の明確化は

森林境界の明確化が進まない理由は何か。また、今後は明確化の促進に向けて作業をどのように進めていくのか。

平成27年12月議会

当局答弁

面積の小さい山を多くの方が所有している現状であり、境界が入り組んでいるため準備に時間がかかる。

今後は一定規模のまとまりを持った意欲のある地域を対象に、境界杭の提供や、GPS（人工衛星による位置測定）機器の導入と貸し出しなども検討している。

どうなった



GPS操作研修会で地域主導を後押し

地域の皆様と一緒に 森林境界明確化のスピードを加速化！

森林・林業再生協議会では森林の境界明確化作業を実施していますが、境界が入り組んでいるなどの理由で年間平均約50haしか実施できない現状でした。

そこで平成28年度からは、①協議会が中心となっていく明確化作業と、②地域で自ら行われる明確化作業の2つの方法で、境界明確化のスピードを加速させています。28年度は2つの地域から協力いただき、協議会実施の約64haのほか、地域主導で約38haを実施していただきました。

境界明確化を実施した地区については、今後、西置賜ふるさと森林組合を中心に森林経営計画を作成し、国の補助事業を活用しながら、利用間伐等の森林整備や路網の整備を進めていく予定です。

この取り組みを広めることにより、所有者の山に対する関心を高め、森林の整備と林業の再生につながるよう、今後も進めていきます。

【平成28年度森林境界明確化】

計画：50ha

実績：約102ha

〔協議会：約64ha〕
〔2地域：約38ha〕

事業の検証と評価

いつ襲ってくるかわからない集中豪雨、そして今後想定される木造公共建築物等の増加や再生木質燃料の消費量増加に向け、一日も早く山の手入れや木材の出荷に向けた林道の整備を進める必要がある。

町内3か所のモデル地域から出発したこの事業が、少しずつではあるが、山への関心とともに森林所有者に広がりを見せ始めたことが、形となって表れた結果であり高く評価し、今後のさらなる進展に期待する。

よくできました！



土屋 明美 さん
(中山地区)

実は、トマトが
苦手だったん
です。(ーー)

インタビュー よむぞぎったなっすー 中山地区が私を トマト農家にしてくれました。

「中山の魅力を広めたい」と語る、真つくな瞳に感動しました。

出身はどちらですか。

福島県伊達郡国見町の生まれです。ちよつど萩野のようなところで育ちました。

ご主人とはどこで。

山形工科大学短期大学の先輩でした。卒業後結婚して、3年後に中山に移住しました。農業には全く縁がなく、土いじりをするなんて考えられないお嬢様でした。(信じてもらえませんか?)

トマト栽培をするようになったきっかけは。

「近所のおじさんからトマトを箱でいただいたのです。『トマト苦手なんです』なんて言えるはずもなく...」

ところが「食べてびっくり!」これがとてもおいしいのです。自分からいただきに行くようになって、その後ハウスを引き継ぎトマト農家になりました。

やってよかったと思いますか。

正直、今考えると甘かったなと思う時もありますが、決して失敗したとは思いません。でも、『い』だから始められたと思います。ほかの地区に住んでいたならトマトは作っていませんでした。

いま、取り組んでいることは。

外から来た私たちの手で、中山の魅力を広めたいと、他県から移住した友人と「やってみんべ・してみんべ」を立ち上げました。子どもから大人まで、すべての世代を対象にしたイベントを企画して、中山を会場に開催しています。

トマト栽培の工夫は。

冬になる前にハウスのビニールを外してさら地にし、土を鍛えなおしています。とてもいい土壌だこのお墨付きもいただきました。



販売拡大の工夫は。

ホームページを開発して、全国に発信しています。個人のお客様を増やしていきたいです。私のトマトは日持ちがよいと評判なんです。

町や議会へ望むことはありますか。

作物にしてもイベントや作品にしても、それぞれにとても素敵なものばかりです。いくつか共通のテーマでつながれば、白鷹町を大きくPRしていけるのではないかと思います。

若い人たちと話す時、時間を忘れるほど盛り上がります。どんなアイデアも出てきます。若い世代の意見を聞く場を設けられたらいいと思います。

編集後記



雪のない正月を迎えたと思ったら、1月12日頃から降雪があり、重い雪のため果樹の枝倒れやビニールハウスの倒壊などの被害が出た冬でした。関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

29年度は、近年にない大型予算が計上されました。まちづくり複合施設建設が大きな事業です。7月からの着工に向けて準備が進んでいます。町の木材をたくさん使って建てられます。町民に身近で末永く親しんでもらえる施設になるように望みます。

(笹原)

広報委員

委員長	山田 仁
副委員長・編集長	小口 尚司
委員	石川 重二
委員	佐々木 誠司
委員	笹原 俊一
印刷	(有)梅津印刷

